＊2017 年 5 月改訂（新記載要領に基づく改訂　第 8 版）
2011 年 12 月 1 日改訂（第 7 版）
認証番号：21300BZY00522000

機械器具 51　医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器　　創部用ドレナージキット　　コード：35824102

ドレナージシステム

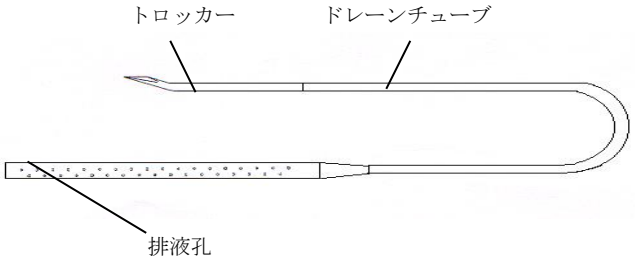
再使用禁止

【禁忌・禁止】

・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

ドレーンチューブ、コネクター、トロッカー及びタンクから構成される。



ドレーンチューブ：シリコーン及びポリ塩化ビニル

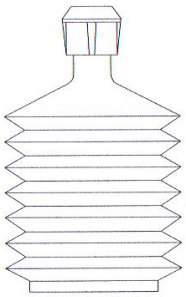
トロッカー：ステンレス（ニッケル・クロムを含む）

タンク：シリコーン及びポリエチレン

付属品：コネクタ

注意：本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2−エチルヘキシル））を使用しております。

タンク



原理
術創部に留置したチューブをタンクに接続し、圧縮したタンクにより吸引することによって、チューブ先端の吸引部から液体を吸引し、タンクに貯留する。

仕様

ｶﾀﾛｸﾞ番号	外径	長さ	ﾀﾝｸ容量	最高陰圧
PV24	2.4mm	500mm	−	−
PVL32	3.2mm	1300mm	−	−
PVL47	4.7mm	1300mm	−	−
SF410	4x10mm	900mm	−	−
PT020	−	−	20mL	-3kPa

【使用目的又は効果】

本品は、手術後の排液を体外に誘導するものである。

＊【使用方法等】

＜使用方法＞
①チューブとトロッカー針を接続する。
②チューブとトロッカー針を術創部より体外に向けて組織を貫通させる。
③適当な長さになるまで引き出した後、トロッカー針の根元のチューブを切断する。
④チューブの切断端に圧縮したタンクを接続し、タンクのキャップを締める。
⑤タンクが排液でいっぱいになったら、キャップを緩め、チューブを外し、キャップを閉めなおして排液を廃棄する。
⑦終了後は必要な処置を行った後、チューブを抜去する。

排液バッグ
手術部位や排液量等に応じて、排液用バッグとタンクを組み合わせて使用する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞
・チューブを接続した後、キャップを締めすぎないこと。
・吸引時はキャップを取り外したまま使用しないこと。
・必ず吸引が行われていることを確認すること。吸引がかからない場合は使用しないこと。
・吸引中はタンクを圧縮させないこと。
・廃液時にキャップを外したままタンクを強く圧縮すると、タンク内部のシリコンリングが外れることがあるので、キャップは締めなおして廃液すること。

＊【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

・接続を確認すること。
・排液量を監視すること。
・挿入部を清潔に保つこと。

2.不具合・有害事象

本品の使用に伴い、以下のような不具合・有害事象が生じる可能性がある。

＜重大な不具合＞
・ドレーンチューブの断裂　・ドレーンチューブの埋没
・タンクの脱落　・陰圧不良
＜重大な有害事象＞
・細菌感染症　・組織障害
・血液凝固障害　・微小血栓　・創部腫脹

＊【保管方法及び有効期間等】

・保管方法

本品は直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で室温にて保管すること。また化学薬品の保管場所や高温、多湿、直射日光、紫外線、ほこり、塩分、硫黄分等悪影響の生ずる恐れのある環境での保管は行わないこと。

・使用の期限

包装の使用期限を参照のこと。

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社トライテック
TEL:03-5767-9831　FAX:03-5767-9839
製造業者：Sidam S.r.l.　（シダム社）
イタリア